

SKY HALL TOYOTA

豊田市武道館

豊田市総合体育館サブホール



豊田市



人・街・自然にやさしい、新時代のスポーツ交流拠点

スカイホール豊田

● メインホール ●

● サブホール ●

● 武道館 ●

市民レベルの大会から国際大会まで対応可能な、
県内屈指の規模と機能を備えた「メインホール」。
そのメインホールの機能を補完する「サブホール」。
「和」の装いの中にも力強さを感じさせる「武道館」。
スカイホール豊田は、これからも「スポーツ交流の場」として、
市民のスポーツライフをサポートします。

■ 施設機能

〈メインホール〉

- ・ 競技スペース 3,600㎡ (80m×45m)
- ・ 主な競技種目 バスケットボール4面、バレーボール4面、
ハンドボール3面、バドミントン20面
- ・ 収容人数 6,500人 観客席3,470席/移動観覧席980席
- ・ 付帯設備 メインホール冷暖房機器、放送室、更衣室(8室)、
本部室、控室(4室)、トイレ(6カ所)、エレベーター、
下足ルーム、医務室等

〈その他主な諸室等〉

多目的ルーム/トレーニングルーム/スタジオ/会議室(大会議室、中
会議室、研修室)/クライミングウォール/ランニングコース



メインホール

CONCEPT

衣の町としての「歴史」と車の町としての「未来」、糸が縦横に紡がれる凜とした様を基調としたスカイホール豊田のメインホール。「サブホール」と「武道館」は、武道の力と美、和の象徴である「柱」の要素を取り入れ、伝統を感じさせつつも現代にふさわしい新たな公共施設として誕生しました。

2F サブホール

市民に身近で親しみやすい競技コート。優れた採光性で快適な屋内環境を提供。



壁面にFRPパネルを採用

適度な光透過性を備えたFRPパネルを壁2面に採用。太陽光を屋内に取り入れて照明の電力消費を抑えます。



採光性に優れた屋根構造

地元の間伐材を使用した木質感あふれるサブホールの屋根構造。自然採光に配慮した設計が、省エネ効果はもちろんサブホールならではの温かな表情をつくっています。

1F 武道館

和の趣きと高い機能性を備えた武道館。柔道や剣道をはじめ多目的に利用可能。



間仕切り可能なフロア

「柔道場」「剣道場」「多目的道場」と、フロアを3つに仕切る間仕切りは可動式のものを採用。用途に合わせて空間をつくるが可能です。



「和」を意識した空間設計

日本建築を象徴する「柱」と、その柱が横の広がりを持って生まれた「間」。武道館では、それら和の要素を身近に体感できる空間デザインを取り入れました。

施設概要

構造 ▶ 鉄筋コンクリート及び鉄骨造
規模 ▶ 地上3階、建築面積 2,970㎡、
述床面積 5,825㎡

1階 武道館

剣道場

競技スペース 28.9m×14.3m(2面分)
控席 65席

多目的道場

競技スペース 28.9m×16.1m
控席 65席
畳収納庫 264畳

柔道場

競技スペース 28.9m×16.7m(2面分)
279畳
控席 65席

供用部

控室1・2、師範室、更衣室(シャワー室)、
トイレ、給湯室

天井高(共通) 4.3m(有効)

各道場は、日常は可動間仕切りで仕切られる。

可動間仕切り開放時

競技スペース 28.9m×47.3m 1,367㎡
控席 195席

2階 サブホール

競技コート

面積 36.9m×47.3m
(1,745㎡)

バスケットボール 2面

バレーボール 2面

ハンドボール 1面

バドミントン 10面

天井高 12.5m(有効)

諸室 器具庫1・2、控室1・2

控席 370席

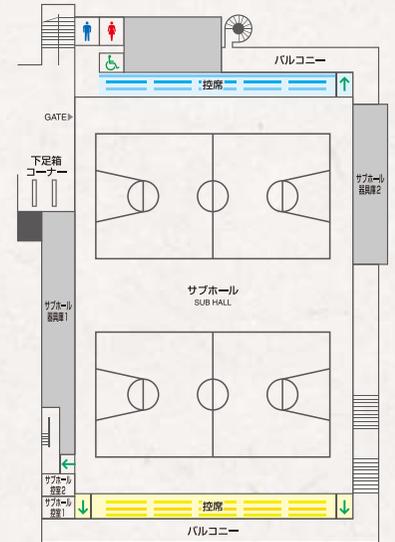
※3階は控席180席のみとなります。

FLOOR GUIDE

2F

Sub Hall

- ・サブホール
- ・控室(大会運営室)
- ・器具庫
- ・控席
- ・下足箱コーナー
- ・トイレ



1F

Budokan

- ・剣道場
- ・柔道場
- ・多目的道場
- ・控室(大会運営室)
- ・控席
- ・下足箱コーナー
- ・更衣室
- ・トイレ



太陽光発電

エネルギー浪費ではなく、少しでも自然エネルギー利用の方向に向かうべく自然採光、自然換気、太陽発電及び雨水利用を積極的に取り入れています。



SKY HALL TOYOTA 全体図



■ 利用時間 9:00~21:00 ■ 休館日 月曜日(祝日は除く)、年末年始



TEL.0565-31-0451

〒471-0861 豊田市八幡町1-20